

温室効果ガス削減計画

1 事業の概要

(1) 事業所の名称

丸善製薬株式会社 三次工場

(2) 事業所の所在地

広島県三次市南畑敷町 870-32

(3) 業種

他に分類されない食料品製造業

(4) 事業所位置図

別紙のとおり

2 計画の期間

本計画の期間は、平成29年度を基準年度とし、令和5年度から令和9年度までの5年間とする。

3 計画の基本的な方向

私たちは健康で豊かな生活を営むために、かけがえのない地球と限りある資源を次の世代に引き継ぐことが責務であることを認識し環境と調和した事業活動を積極的に務め、次の活動を推進します。

- ① 生産から廃棄に至るまでの全過程において環境に及ぼす影響を十分に理解した上で、環境に配慮した製品開発と製造技術を推進します。
- ② 環境保全活動を推進ならびに徹底するために環境マネジメントシステムを整備し改善していきます。
- ③ 事業活動における廃棄物の削減とリサイクルを行うことにより省資源、省エネルギーに取り組めます。
- ④ 地域社会の一員として、環境保全活動への参加と社員の自主的な活動への支援に積極的に協力します。

4 温室効果ガスの排出状況（二酸化炭素換算）

【エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 (29) 年度	令和 (4) 年度
二酸化炭素	5,530	5,444

【非エネルギー起源二酸化炭素】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
二酸化炭素		

【その他温室効果ガス】

温室効果ガスの種類	温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	
	基準年度	直近年度
	平成 () 年度	令和 () 年度
メタン		
一酸化二窒素		
その他 温室効果 ガス (HFC PFC SF6 NF3)		

5 温室効果ガスの総排出量に関する数量的な目標

《排出量を削減目標とする場合》

単位：排出量 (t-CO₂)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (29) 年度)		削減目標		目標年度 (令和 (9) 年度)	
	排出量 (a)	削減率 (b)	削減量 (c)	排出見込量 (d)		
エネルギー起源CO ₂	5,973	6.2	373	5,600		
非エネルギー起源CO ₂				0		
メタン				0		
一酸化二窒素				0		
その他 温室効果ガス				0		
温室効果ガス 実排出量総計	5,973	6.2	373	5,600		
温室効果ガス みなし排出量		-		5,600		
目標設定の考え方						

※ 削減率(b) = (c) / (a) × 100 削減量(c) = (a) - (d)

《原単位を削減目標とする場合》

原単位算定に用いた指標：

原料処理量 (t)

単位：排出量(t-CO₂)，原単位置量(kg等)，削減率 (%)

温室効果ガスの種類	基準年度 (平成 (29) 年度)			原単位 削減目標	目標年度 (令和 (9) 年度)		
	排出量 (a)	原単位 数値 (b)	原単位 (c)	削減率 (d)	排出 見込量 (e)	原単位 見込数値 (f)	原単位 見込 (g)
エネルギー起源CO ₂	5,973	639	9.35	37.0	5,600	950	5.89
非エネルギー起源CO ₂							
メタン							
一酸化二窒素							
その他 温室効果ガス							
総排出量	5,973	639	9.35	37.0	5,600	950	5.89
エネルギー消費原単位 (原油換算 k l)	-	-	3.98	14.6	-	-	3.40
目標設定の考え方							

※ 削減率(d) = {(c) - (g)} / (c) × 100 原単位(c) = (a) / (b) 原単位見込(g) = (e) / (f)

6 温室効果ガスの排出の抑制に係る措置項目及び目標並びに具体的な取組等

○ 温室効果ガスの排出抑制に向けた取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	電気使用量の削減	原油換算 1kℓ	防爆型LED照明器具更新工事
2	LNG削減	原油換算 2kℓ	簡易ボイラーの更新
3			
4			

※ 原単位で作成する場合は、数値目標欄の記載例中、「使用量」を「原単位」に適宜読み替えること

○ 温室効果ガスみなし排出量の抑制に関する取組（環境価値の活用等）

	種 類	合計量
1	特に無し	
2		
3		

○ その他の取組

	項 目	数値目標	具体的な取組
1	特に無し		
2			
3			

※ 環境に配慮した実践的な取組などをされていれば記入してください。

7 温室効果ガス削減計画の推進並びに実施状況の点検及び評価に関する方法等

(1) 推進・点検体制

最高責任者(工場長 石田 芳彦)

推進責任者(武井一洋)― 総合調整(エネルギー管理委員会)

生産課	生産管理課	品質管理課
-----	-------	-------

【推進責任者】 田村 洋明	堀内 剛	山本 章夫
---------------	------	-------

【推進リーダー】新田 直也	野口 貴司	渡部 信夫
---------------	-------	-------

(2) 実施状況の点検・評価

生産課が中心となり、毎年、温室効果ガス削減計画の取組状況の把握・点検及び問題点の検討を行い、エネルギー管理委員会において、定期的に評価・見直し等を行い、継続的な向上を図る。
また、毎年度の取組状況、点検・評価内容等については、計画書とともに事業所に備え付けて閲覧する。

(3) 計画書等の公表

事業所に備え付けて閲覧する。